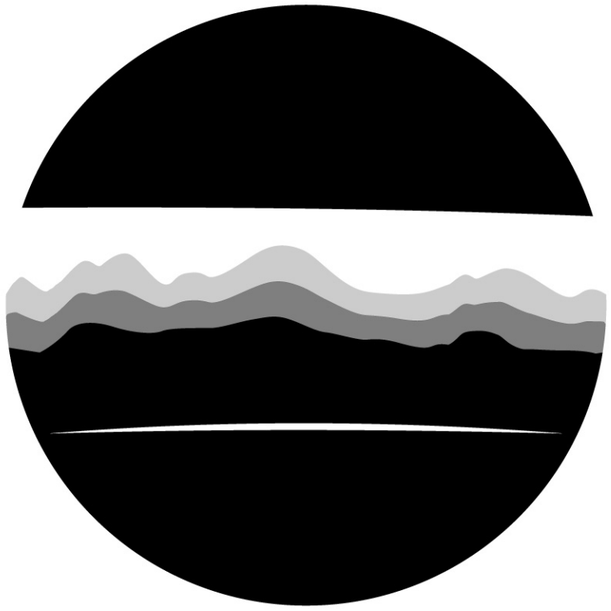
日本刀の聖地・長船ロゴマークガイドライン

令和６年９月

瀬戸内市

LOGO



日本刀の聖地

長船

O S A F U N E

コンセプト

日本刀と長船の山河を組み合わせ、日本人の精神をあらわすシンボルのひとつである円のなかに表現することで、機能美を突き詰めた先にある美しい日本刀づくりを現代に伝え続ける、「日本刀の聖地・長船」の本質をシンプルに表現するロゴマークにしています。

刃文の中には、刀鍛冶の信仰をあつめた霊峰・熊山のシルエットを潜ませることで長船の情景を入れ込み、さらに吉井川の水面に見立てた反りや棟の表現を加えて「長船という土地のロゴマーク」であることを強調しました。

また日本刀が漢字の「一」にもみえることから、日本一の質と生産量、そして歴史を誇る長船の「日本一」の印象、国宝「山鳥毛」がつくられた福岡一文字派を象徴する「一」の意味もロゴマークに込めています。

日本刀の文化を育んだ長船の豊かな自然の情景にも、鋭さと斬れ味に美しさを持つ日本刀にも、どちらにも見えるようなロゴマークになっています。

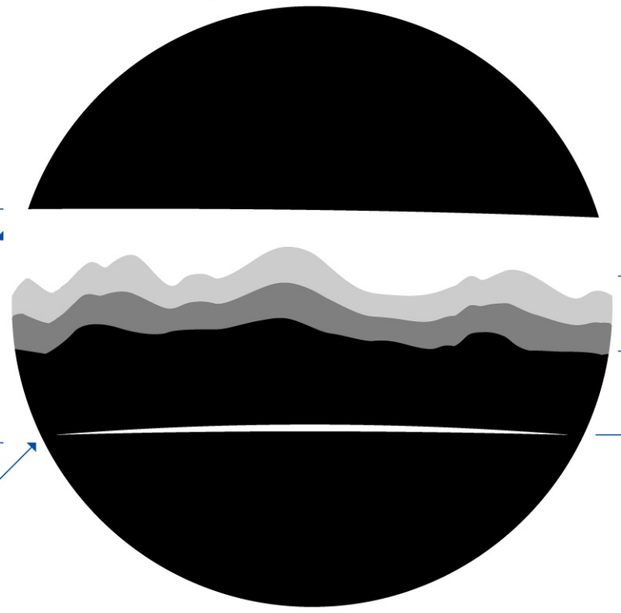
LOGO

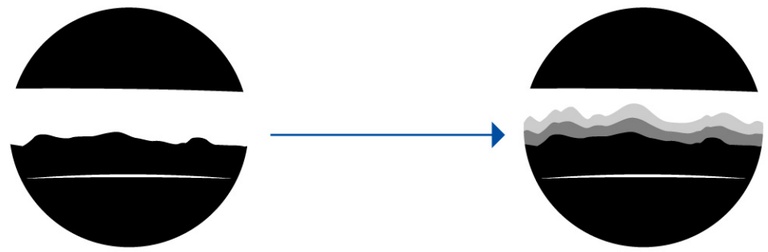
・丸＝太陽（日の丸）で日本人の精神を表現
・円は空・風・火・地を含んだ世界全体や悟りの境地を表すもの。
・「天円地方」古代中国の宇宙観で、天は円形、地は方形で表す。
　このロゴ自体に円と方があり宇宙と考えられる。

・空
・純粋なものづくりの
　想いを表す純白。

・質と量ともに日本一の日本刀の産地
　＝「一」
・福岡一文字
・「一」のイメージ
・刀剣

・刀剣の鋭さや切れ味
・反りの美しさを表現
・陽光に反射する吉井川の水面





・刀剣の「刃文」と「刃取り」をイメージした。
・熊山にたなびく雲や霧、陽光の反射する神聖さや清らかさを表現。

・備前長船刀剣博物館（中庭）から見える熊山のシルエット。
　古来、刀鍛冶の信仰をあつめた霊峰を表現。

日本刀の聖地

長船

OSAFUNE

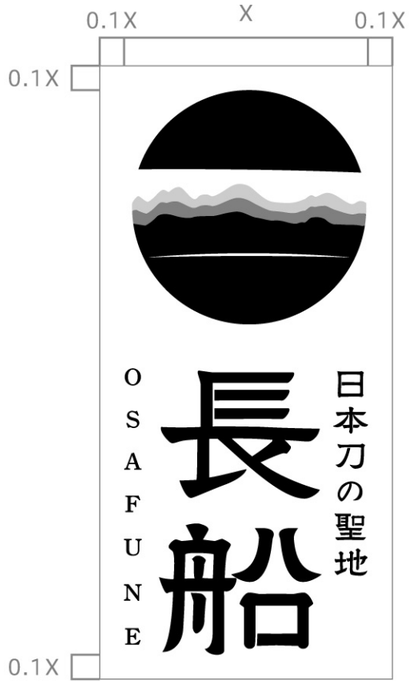
・刀剣をイメージさせる形状の字体（フォント）。
・鋭すぎず丸すぎず、長船の土地の温かみを表す。

LOGO

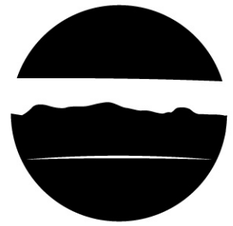
Regular・縦組・横組など適したものをご使用ください。またその際アイソレーションエリアをお守りください。

Regular

縦組



K100% 表現



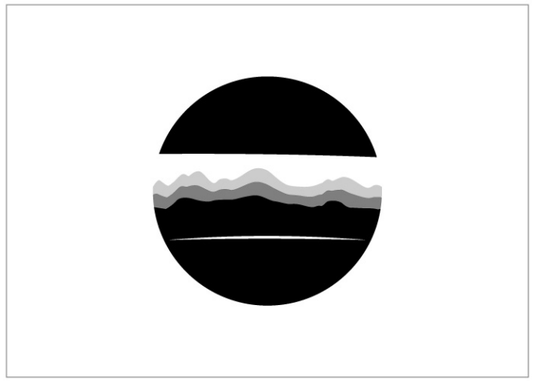
白抜き表現

横組

LOGO

使用例と使用禁止例をご確認いただき、統一した印象となるようご使用ください。

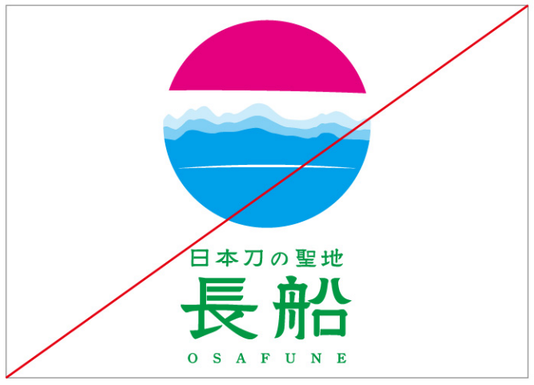
背景白



マークのみ

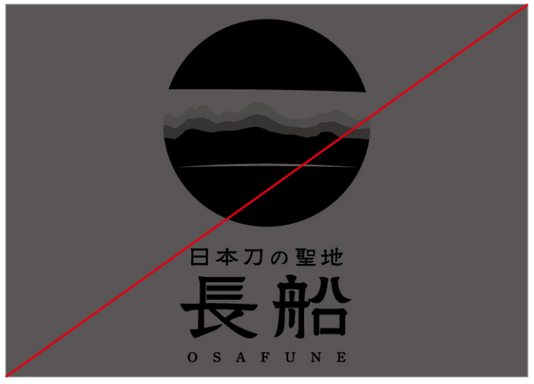
色の変更（1 色での変更のみ）

色の反転

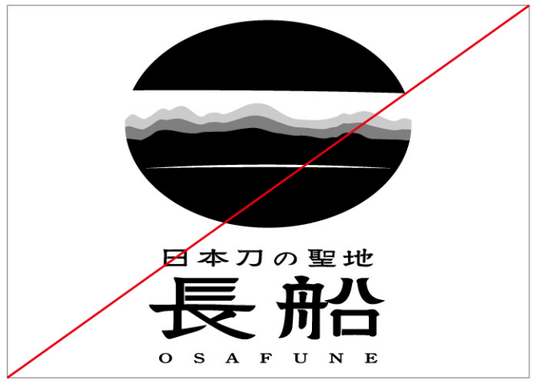


多色を使った色変更

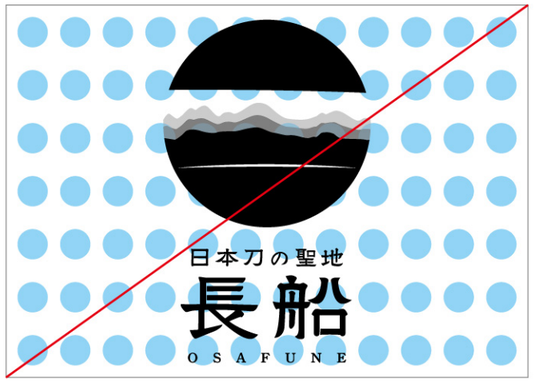
マーク・文字の変形



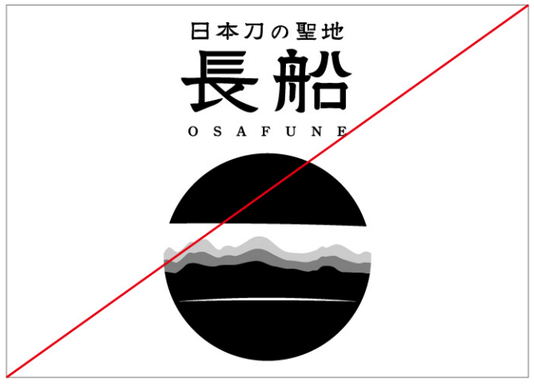
マークが見えづらい



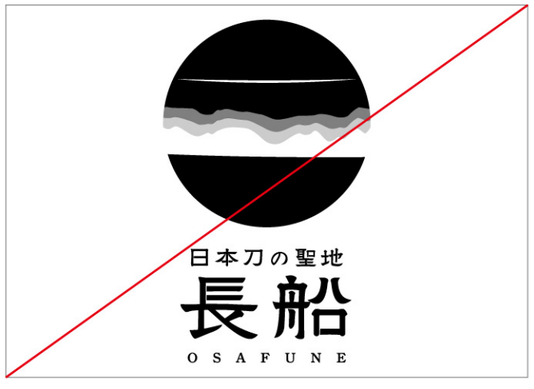
比率の変更



配置スペースは無地を選ぶ



規定にない組み合わせ



マークの反転

赤系への変更（血を連想するため）